

事業番号	07 04 04	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	食品産業の活性化支援事業		部局	産業労働部	課・室	産業技術課
			実施期間	H20～	E-mail	sangi @ pref.nagano.lg.jp

### 1 現状と課題

- ・コロナ禍の中で健康の維持・増進や免疫力向上に役立つ発酵食品等への注目が集まっている。
- ・人口減少や原材料・燃料の高騰等により食品産業を取り巻く環境は厳しさを増している中、産学官連携によるフードテック技術を活用した新商品開発や食品事業者の品質向上に向けた取組が求められている。

### 2 事業目的

- ・食品製造業振興ビジョン2.0に基づき、長寿県NAGANOの「からだに優しい食品」の創出・提供を核として、国内外の食市場で優位性を確保する食品製造業の実現を目指す。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ① 県産機能性食品等の研究・開発に携わる人材の育成支援  
当初予算のとおり
- ② 食品の品質向上や社会課題解決のための新食品開発支援  
・加工食品等の輸出拡大に向け、輸出先国の求める基準・条件等の規制に対応するため、製造・加工施設の新設及び改修、機器の整備等に係る経費を助成  
※その他の事業は当初予算のとおり
- ③ 発酵食品や発酵・長寿県ブランド形成のための販路開拓支援  
当初予算のとおり

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	食品に係る研究開発人材の育成数	人	21	20	↘	10	↘	20	△	食品産業振興ビジョン2.0において人材育成支援を掲げている。過去3年間の実績を基に、年間20名とし、5年後の累計人数100名を目指す。	
②	フードテック技術研究会への参加者数	人	-	-	—	150	—	180	△	食品産業振興ビジョン2.0においてフードテックを活用した商品開発力の強化を掲げている。令和5年度の研修受講者見込数を基に、年間30名の参加拡大を目指す。	
③	サーキュラーフードビジネス促進事業補助金利用件数	件	-	-	—	2	—	6	△	食品産業振興ビジョン2.0において、信州型サーキュラーフードを支援するとしている。令和5年度利用見込数3件を基に、支援拡大数4件を目指す。	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1②	稼働力とブランド力の向上	★加工食品の輸出額	億円	2019 (R1)	54	2020 (R2)	57	2021 (R3)	72	2027 (R9)	124
2-3②	サービス産業等の活力向上	しあわせ信州食品開発センターの支援による商品化件数(2023～2027年度の累計)	件	2021 (R3)	23	2022 (R4)	21	2023 (R5)	21	2027 (R9)	100
2-3②	サービス産業等の活力向上	しあわせ信州食品開発センターによる支援件数(2023～2027年度の累計)	件	2021 (R3)	81	2022 (R4)	86	2023 (R5)	80	2027 (R9)	400

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額					
R6年度	759,933	31,367	267,920	267,920	1,059,220	0	△	1.5	
R5年度	0	999,489	79,624	△	1,079,113	15,091	△	1.5	
R4年度	284,835	94,336	△ 65,400	△	313,771	11,474	312,186	1.5	

事業名	<b>食品産業の活性化支援事業</b>	部局	産業労働部	課・室	産業技術課
-----	---------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
1	<b>「食」と「健康」ラボ機能形成事業費</b>		15,221 千円	14,456 千円	予算現額 うち今回 補正額 9,574 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州フードスペシャリスト育成プログラム	委託	発酵・機能性食品等の開発・研究企画に携わる県内食品製造業の人材育成を大学等と連携して実施 人材育成人数：20人		
2	研究会による新商品の研究開発プロジェクト	負担金	「食」と「健康」ラボ研究会による新商品開発プロジェクトの実施や食品開発に係る研究・講演会を開催 新商品開発企業件数：5件		
3	発酵食品活用促進支援事業	委託	新食品開発スペシャルアドバイザーを配置し、消費者ニーズに合った新たな食品開発を支援 相談支援件数：30件		

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
2	<b>食品産業技術高度化推進事業</b>		2,010 千円	2,010 千円	予算現額 うち今回 補正額 2,010 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	品評会等の開催	直接	本県を代表する食品（清酒・みそ・甘酒・そば・豆腐・醤油）の製造技術力及び品質向上を図るため、関係団体と共催で品評会等を実施 品評会の開催件数：6回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
3	<b>グローバルな「NAGANOの食」価値向上推進事業</b>		- 千円	9,130 千円	予算現額 うち今回 補正額 12,467 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州フードテック開発支援事業	委託	県内食品企業の製造過程で発生する残さ（特に、酒粕）の有効活用に向け、産官学連携によるフードテックを活用した試作品づくりを支援 残さを活用した新商品（試作品）の研究・開発：1件		
2	サステナブルな「信州フードテック」転換支援	委託	コーディネータを設置し、食品事業者における食品のアップサイクル等の新商品開発を支援 フードテック食品の試作・研究開発：1件		
3	サーキュラフード（CF）ビジネスの促進事業補助金	補助金	県産農畜水産物の食品加工適応性について試作研究・評価等し、販路開拓に必要な経費を助成 事業実施予定数：6件		
4	グローバルな「NAGANOの食」ブランド化支援	委託	輸出相手国のニーズ・規制に適合したマーケットインによる食品開発に係るPR・需要調査等を実施 セミナー及びプロモーションの開催：各5回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
4	「発酵・長寿NAGANO」ブランド力強化事業		3,705 千円	5,516 千円	予算現額 7,316 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	NAGANOの発酵食魅力発信事業	委託	県産発酵・伝統食品の魅力を県外や海外へ発信するため、発酵・長寿ポータルサイトのリニューアルを行い、多言語表記や食品企業が持つ発酵食品の優位性等の情報発信を強化 ホームページアクセス数：30,000件		
2	発酵食品事業者連携強化推進事業	委託	食品事業者による発酵食品をもとにした商品開発の取組みを支援するため、地域食材専門バイヤーによる研修会の開催や、地域食材展示会への出展求評を実施 食品展示即売への出展回数：2回		
3	NAGANOの発酵・健康食ツーリズム実証事業の実施	委託	ブランド価値（発酵・長寿県や海外訴求力）の高い発酵食品の魅力等を広く発信するため、発酵食ツーリズムモデル事業を異業種間連携により実施 発酵食ツーリズムモデルツアー造成及び催行：1回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
5	食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備支援事業		292,835 千円	1,048,001 千円	予算現額 1,027,853 うち今回 267,920 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業補助金	補助金	加工食品等の輸出拡大に向け、輸出先国の求める基準・条件等の規制に対応するため、製造・加工施設の新設及び改修、機器の整備等に係る経費を助成 事業実施数：1件		